

# 第583回福崎町教育委員会会議録

開催日時 平成29年9月28日(木) 13時30分～16時30分  
開催場所 福崎町立図書館 会議室  
出席委員 高寄十郎、石川治、谷口喜久美、西井裕子  
事務局 学校教育課長 岩木秀人、社会教育課長 大塚久典

## 1、開会

2、582回議事の報告を会議録により行い、承認されました。本会の署名委員として石川委員・西井委員を指名しました。

## 3、教育長報告

### (1) 園小中学校の様子

こども園、小学校合同で運動会を、中学校では体育大会を実施しました。市川町では小学校だけが運動会を5月に実施しています。過去に福崎町でも運動会の5月実施を検討してみてもどうかという議会での一般質問もありました。幼稚園長、小学校長に相談したところ、5月実施になると低学年や幼稚園では体制がとれない、また、学校や園生活の基本的なところを教えているときに5月実施は困難であるという理由で見送られました。市川町は小学校単独で運動会を行っています。一時、残暑の関係で運動会を早く行う学校が増えていましたが、最近では全国的にみると運動会は9月に実施する学校が多くなっています。中学校の体育大会が台風の影響で2日ずらして実施されました。

### (2) 平成29年度全国学力学習状況調査

資料に基づき報告しました。この結果が学力のすべてではないということ、この結果は今年のことであって、去年、あるいは来年とは数字の違いが出てきます。小学校ではA分野は指数100を超えています、B分野が落ちています。中学校では全教科良かったです。資料では中学校の国語Bにおける全国の正答率が72.2%になっています。兵庫県と福崎町の正答率は、文部科学省の指導により小数点1以下の数字は出さないということで72%になっています。詳しくみると福崎町は72.4%になります。この資料を見ると、全国と比較した場合、福崎町の方が全国より正答率が低いと判断されますが、実質は福崎町の方が正答率が高いということになります。最終的に指数を四捨五入にして表わすこととしました。生活調査についてですが、「家で学校の復習・予習はできているか」という項目では、小学校、中学校とも全国平均より低くなっています。「家で学校の宿題はしていますか」という項目では小学校、中学校とも全国平均より高くなっています。このことから、福崎町の子どもは、宿題はするけれど、宿題だけで終わってしまっていることが分かります。先生が「してきなさい」と言ったことに対して、福崎の子どもはよくできるのですが、先生が指示しないことはあまりできないという状況です。また、「自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりするのが難しい」という項目に関しては、毎年全国平均より低くなっており、福崎町の課題となっています。そのため、普段から読書週間を設けたり、読書をさせて感想文を書いたりと取り組んでいますが、まだまだこの部分が低いことが分かります。「学校に行くのが楽しいと思えますか」という項目では小学校が全国平均より低く、中学校が全国平均より高くなっています。私たちの考えでいくと、小学校の方が中学校より学校に行くのが楽しいと思うのではないかと思います、この

傾向は去年から現れています。「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」という項目に関しては、小学校で全国平均より低くなっており、これは去年と同じ傾向です。今回、この生活調査結果を小学校の先生も見たいと思います。子どもたちがどういう思いでいるのかが分かると思います。保護者の方も子どもが喜んで学校に行っていると思っておられるのに、そうじゃないんだということが、この記事を見て分かるのではないのでしょうか。反対に「自分の夢や目標を持っていますか」「家で学校での出来事について話をしますか」「地域の大人に勉強やスポーツを教わってもらったことがありますか」という項目に関しては、小学校、中学校とも全国平均より高くなっています。このことから自尊感情が育まれ、地域に支えられている福崎の教育が現れているのではないかと思います。総括としては「規則正しい生活を送っている子どもほど正答率が高い」「教師や保護者が同じ価値観で子どもを褒めている」「自分が生かされていることを理解し、常に周りに感謝の気持ちを持っている子どもが多い」ということが言えると思います。今後は、「子どもの学力＝『生きる力』の実態把握に努める」「家庭と協力して基本的な生活習慣をより確立させ、自ら学ぶという主体的・能動的な姿勢を育成する」「授業中、友だちの意見をしっかり聞き、それに対する自分の意見を持ち、人前で発表できる訓練をする」「落ち着いた学習環境や少人数学習・複数指導によるきめ細かな指導をする」等の対応を行います。

### (3) 遠野市との交流

資料に基づき報告しました。遠野市との交流では、「遠野物語」、柳田國男と佐々木喜善を中心として、「不易」と「流行」の視点で進めたいと思います。平成30年8月20日以降に2泊3日で行いたいと思います。対象学年は小学校高学年、人数は検討中です。小学生の方が遠野市との交流から帰ってきてから、各学校で福崎町と遠野市との交流について広めることができるのではないかと思います。佐々木喜善が学んだ学校である土淵小学校と交流する予定です。遠野市の河童と福崎の河童の違い等も知ってもらうため、河童淵などを訪れたいと思っています。また、遠野馬の里で乗馬体験をしたり、災害時の後方支援の拠点となった遠野防災センターも訪れたいと思います。参加費用については検討中です。

### (4) 子ども子育て会議（第1回）

平成29年度第1回目の子ども子育て会議を8月28日に開催しました。福崎町の子ども・子育て支援事業計画5年間の半分が経過しましたので、状況報告を行い、見直しを行います。

### (5) 学童指導員研修

9月2日、夢野児童館副館長の藤枝先生をお招きし、「学童保育と指導員の仕事と役割」について研修し、指導いただきました。

### (6) 自然学校反省会

9月7日に本年度の自然学校の反省、来年度に向けての話し合いを行いました。現在、八千種小と田原小の被害にあった子どもも皆元気に学校生活を送っています。被災者は取調中で、11月2日に1回目の公判が行われる予定です。今年度の反省を踏まえて、4小学校の4年生の保護者を募り、11月28日と29日に南但馬自然学校の事前見学会を行う予定です。

### (7) 台風18号ほかについて

8月18日のゲリラ豪雨で砂防ダム工事中の隣接の山から水があふれ、スポーツ公

園が水浸しになりました。砂防ダム工事の業者によって整備し、現状回復しました。

台風18号により避難所を4か所開設しました。各学校では2名の教員を職員室に午後11時まで配置し、台風に備えました。高岡小、福崎小では火災報知器に水が侵入し故障しました。高岡小、田原小、東中では雨漏りが発生しました。エルデホール北側のフェンスに隣接地の倉庫が飛来し倒れました。

(8) 9月議会の報告

資料に基づき報告しました。

(9) 小学校修学旅行

10月19日、20日と奈良・京都方面への修学旅行を実施します。夜中に起こしてトイレに連れて行く必要のある児童が何人かいます。自然学校の反省から教員2人1組でその対応をします。

(10) 参加行事

資料に基づき報告しました。

4、協議事項

- ・福崎町保育の必要性の認定に関する条例施行規則の一部を改正する規則について  
10月10日から平成30年度入園の申込みにかかるしおりを配布する予定です。今回、より円滑に事務を行うために入園申込書の様式を変更したいと思います。入園申込書の様式の改正案をお示しし、教育委員全員の同意をいただきました。

5、報告事項

〈学校教育課〉

(1) 自然学校について

資料に基づき報告しました。8月26日、27日の新聞記事に容疑者の名前が初めて掲載されました。

(2) 入札結果について

資料に基づき報告しました。以前、小中学校教育用コンピュータシステム及びセンターサーバ更新事業の入札があり、落札になったが契約にいたらなかった件について報告しました。このたび契約をしなかった業者以外の業者で入札を行いました。その結果、日本事務器株式会社神戸支店が193,104,000円で落札しました。これは5年間の保守等全て含んだ合計金額となっています。平成30年1月31日を納期としています。

(3) 建設工事等の進捗状況について

資料に基づき報告しました。学校施設等長寿命化計画策定に向けた調査業務委託の進捗率は50%です。夏休み中に、小学校4校、中学校2校の現地調査が完了しました。11月20日までの工期としています。10月初めには現地調査について報告いただく予定です。

(4) 子ども・子育て支援事業計画の見直しについて

資料に基づき報告しました。1号認定の利用についてですが、平成27年度から平成31年度まで利用者を125人で計画していました。1号認定は料金が安いということで、利用が増えています。現在、150人前後の利用となっていますので、平成

30年度、31年度は125人から155人へと実績にあわすという方向で見直します。2号認定の利用についてですが、415人で計画していましたが、実際350人ぐらいいらいらっしゃらないということで350人に減らすという数字の見直しを行います。時間外保育は利用が増えることに対する見直し、学童保育につきましては思っていたよりも利用者が大幅に増えているということで見直しています。子育て支援拠点事業は親と子ども一緒に子育て支援施設に来ていただいているものですが、こちらも利用が増えています。一時預かりほかですが、1号認定で増えています、非在園児の一時預かりは減っていますので、それにあわせて見直しを行います。病児病後児保育についてですが、この事業は単独の町ではできないということで、広域での取組が平成31年度に可能になるのではないかと話があります。そこで、平成31年度より見込み数を上げる見直しを行っています。養育支援訪問につきましては保健センターで行っていただいておりますが、訪問による家事、育児支援や養育に関する相談、指導、助言については10人の見込みでした。しかし、子どもは減っても養育支援訪問の利用は増えるのではということで、20人と見直しています。いくつかご意見をいただいておりますので、第2回会議に向けて進めています。

(5) 給食共同調理センター調理等業務委託について

資料に基づき報告しました。9月議会で議員の皆様へ平成29年度債務負担行為説明資料をお示ししました。発注者（福崎町）と受注者（業者）の業務分担を示し、町として設計し、発注します。平成30年度から平成32年度の3年間で190,000千円を見込みます。普通、予算は単年度の予算しか作成できませんが、債務負担行為で3年間を一度に契約させていただきという意味合いの資料になります。無事、9月22日に全員賛成で可決いただきました。本日、入札の通知を行っています。

(6) 平成30年度認定こども園等入園受付について

資料に基づき報告しました。平成30年度認定こども園・保育所等入園受付についてホームページに記事を掲載しています。広報については10月号に掲載されます。入園申込書は10月10日から学校教育課と町内の各認定こども園で配布します。

(7) 給食への異物混入について

異物混入が2件ありました。八千種幼稚園でつみれ汁の中に4mmほどの黒い虫が混入していました。田原小2年1組の給食に3センチほどの黒い髪の毛が混入していました。原因を確認したところ、ねぎの中に虫が入り込んでいた可能性が高いということです。なかなか見つけることは難しいのですが、細心の注意を払いながら、目視の徹底に努めます。もう1件は、田原小4年生で木の葉どんぶりの中に2.5cmほどのボルトが混入していました。給食センターで確認したところ、野菜切り機の刃のボルトでした。野菜切り機は毎朝の食材によって刃を交換しますが、刃が回転するうちに緩みが出て、食材のかごに落ちて混入したものと推測されます。今後は、使い終わった機械は、すぐに清掃・点検を行い、野菜切り機で切った食材も再度違うかごに移し替え、異物の混入がないかチェックして釜に入れることにします。チェックシートを作成し、ボルトをしめた者がチェックシートに記入、さらに別の者が確認をするということで二重のチェックを徹底します。

(8) その他

・八千種小学校通学路の変更について

資料に基づき報告しました。落石のあった通学路から9月1日付けで八千種郵便局のすぐ前の道を通ることに変更しました。現在、2名の教員が毎朝立って児童の安全

を確認しています。

- ・ひょうご保育料軽減事業について

資料に基づき報告しました。所得要件については市町民税所得割額の対象額が下がり、助成する額については上がっています。

- ・福崎町子どもインフルエンザ予防接種助成事業について

資料に基づき報告しました。この事業は保健センターの事業ですが、今年度から1歳から中学3年生までのお子様を対象に、インフルエンザ予防接種の助成を行います。助成を希望される方は保健センターへの申請が必要となります。10月1日から平成30年1月31日までにインフルエンザの予防接種をされる場合1回に限り上限2,000円を助成します。

- ・主な予定

〈社会教育課〉

(1) 学校支援地域本部事業（ウィンタースクール）について

資料に基づき報告しました。今年度も10月から3月にかけて中学3年生を対象に受験対策の自習室を提供するウィンタースクールを行います。時間は午前9時から午前11時30分で、11回行います。毎回2名から3名の先生に指導をお願いしようと考えています。

(2) 第5回柳田國男ふるさと賞について

資料に基づき報告しました。平成25年度から取り組み、今年度で5回目となります。10月2日に審査会を実施し、入賞者を決定します。神戸大学の井上舞先生、能瀬榮子先生、神戸医療福祉大学の足立泰紀先生の3名にお願いし、審査にあたっていただきます。

(3) その他

- ・福崎町子どもふるさと展

柳田國男ふるさと賞の作品を福崎町子どもふるさと展とし、10月7日から11月26日の期間、柳田國男・松岡家記念館で展示します。

- ・日本民俗学会研究奨励賞授与式

受賞論文は「近代日本における出産と産屋」で、伏見裕子さんが受賞されます。高寄教育長が10月14日佛教大学における授与式に参加し、福崎町賞10万円を贈呈する予定です。

- ・開館35周年記念特別展「れきみんのお宝35選」

歴史民俗資料館開館35周年を記念して、10月14日から11月26日の会期で開催いたします。

その他の行事予定を資料に基づき報告しました。

## 6、閉会

以 上

署名委員 石川 治

署名委員 西井 裕子